

(参考様式 5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
秋田県	50008	15	平成 21～25 年度	平成 21～25 年度
活性化計画の区域				
米粉の郷あきた 県内 23 市町村（潟上市と大潟村を除く）				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備 考
地域産物（米粉用米）の販売量の増加	779.4%	642.2%	82.4%	

・事業実施当初は、国の積極的な働きかけの基に、大手食品メーカーで米粉を使った新商品を開発し販売していたため、それに対応した米粉商品（業務用米粉）の販売が堅調に推移（米粉用米の生産・販売数量も増加）。

・しかし、各メーカーとも小麦代替としての利用に止まったため、小麦粉との価格差に見合う価値を消費者に訴求できず末端需要が低下し、結果として業務用米粉の売れ行きも減速し、瑞穂食品(株)において米粉の在庫が発生（メーカーや消費者の関心が高まった一定期間の間に米粉という新ジャンルを確立できなかった）。

・2 回目の改善期間（令和 2 年度～令和 7 年度）において、令和 2 年度からの 3 年間は、契約栽培とすることで、販売量の確保を図り、目標を超える販売量を確保したが、瑞穂食品(株)で在庫過多となり、R 5 年度は数量調整を図ったため目標を大きく下回る販売量となった。また、R 6 年度は目標数量の確保を図ったが、米価高騰により、目標数量の確保が困難となった。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農林水産物処理 加工施設	米粉製粉設備 一式			瑞穂食品 株式会社
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
秋田県	平成 21 年度	平成 21 年度	平成 21 年度	
事業の効果				
・株式会社ニッポン（旧日本製粉株式会社）の販売網を活用し、大手製パン企業、洋菓子メーカー、コンビニエンスストア、外食産業等への販売につなげることができた。				

3 総合評価

- ・現状、米価の高騰が続いており、産地の生産が主食用米に流れているため、今後も原材料の確保に苦戦すると予想している。
- ・天候不良等による今後の米価の状況次第で、米粉の生産にも大きな影響を与えるため、県では市場の動向を注視しつつ、必要に応じて支援等を検討する予定である。
- ・瑞穂食品(株)では、大手製パン企業やコンビニエンスストアへの米粉を使用した新たな商品提案は、原料米の在庫を注視しつつ、進めていくこととしている。

4 第三者の意見

- ・近年の異常気象の中、生産現場では様々な要因で厳しい状況が続いている。しかし交付金の計画の目標に対して実績や成果を出さないといけない。
 - ・現時点では、事業目標が未達成となっている。米不足と価格高騰という環境下での米粉原料米の確保、そしてグルテンフリーの消費者への訴求という難しい点もあるが、交付金による事業効果を上げていくためには現場への支援が重要となる。
- 今後とも、米粉商品に対する消費者の需要喚起、そのための販売促進や米粉新商品開発を引き続き実施してほしい。

秋田県農林水産部農業関係補助事業に係る第三者委員会
(秋田県立大学教授 上田 賢悦 氏)

【 記入要領 】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果(農山漁村の活性化に関連する効果)を幅広く記入すること。

※達成率等算出根拠資料(参考様式4添付資料)を添付すること。

(参考様式5添付資料)事業活用活性化計画目標評価報告書の達成率等算出根拠
秋田県
秋田3期地区活性化計画

目標値																		(単位:t)	
区 分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
地域産物の販売量の増加	—	—	1,743	1,650	1,710	1,770	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,148	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	—	
	事業実施前(現状)		計画期間(目標)				6,873	改善期間1回目(目標)					6,873	改善期間2回目(目標)					5,725

実績値

(単位:t)

区 分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
地域産物の販売量の増加	—	651	1,267	1,284	1,662	424	117	103	215	620	835	1,295	1,492	1,369	1,278	367	326		
	事業実施前(現状)		計画期間(実績)				4,637	改善期間1回目(目標)					3,185	改善期間2回目(目標)					4,832

【事後評価】

① = 目標値A = (目標／現状) × 100-100(%) = 955.8%

実績(H22～H25) = 4,637

② = 実績値B = (実績／現状) × 100-100(%) = 612.3%

達成率 = ②÷①

64.1% 未達成



【改善計画1回目の事後評価】

①' = 目標値A = (目標／現状) × 100-100(%) = 955.8%

実績(H26～H31) = 3,185

②' = 実績値B = (実績／現状) × 100-100(%) = 389.2%

達成率 = ②'÷①'

40.7% 未達成



【改善計画2回目の事後評価】

①'' = 目標値A = (目標／現状) × 100-100(%) = 779.4%

実績(R2～R7) = 4,832

②'' = 実績値B = (実績／現状) × 100-100(%) = 642.2%

達成率 = ②''÷①''

82.4% 未達成